

## あらかじめ定められた人々

ローマ人への手紙 8章 26-30節

### はじめに

昨年から、第五週がある時の説教は、キリスト教の基本的な教理を説教することになっています。今日は、私たちは自分の力で信仰を持ったのか、また私たちは自分の力で信仰生活を生き抜いていかなければならないのか、ということをお話したいと思います。

### 1. あらかじめ定められた人々

使徒パウロは、29-30節でこのように言っています。「**神は、あらかじめ知っている人たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となるためです。神は、あらかじめ定めた人たちをさらに召し、召した人たちをさらに義と認め、義と認めた人たちにはさらに栄光をお与えになりました。**」

私たちは今、イエス様を神の子、救い主と信じてクリスチャンとして歩んでいます。しかしパウロは、そのことは神様によって「あらかじめ定められていた」ことだと言います。つまり私たちは、神様によって「あらかじめ定められていた」からこそ、イエス様を神の子、救い主と信じることができ、クリスチャンとして歩めるようになったと言うのです。

私たちの現実の経験を振り返ってみれば、自分の意志で求道し、悩んだ末に信仰を決断したということもあるでしょう。しかしその背後には、神様が永遠の昔から私たちを信仰へと「あらかじめ（予め）定めて」いてくださったのです。それに基づいて、神様は時至って、私たちに信仰を与え、私たちを救いに導いてくださったのです。イエス様はこう言われました。「**あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです**」(ヨハネ 15:16)。

私たちはもちろん、自分の意志でイエス様を信じました。しかしそれは、神様が永遠の昔から私たちを選び、霊的に死んでいた私たちを聖霊によって新しく生まれさせ、イエス様を信じる意志を私たちの心に与えてくださったのです。私たちはすべて神様の恵みによって救われたのです。

このことから、私たちの救いは究極的に、私たちの信仰によって支えられているのではなく、永遠の昔からの神様の選びによって支えられていることが分かると思います。

神様は、私たちに信仰を与え、私たちを義と認めてくださいました。「義と認めてくださる」とは、私たちのすべての罪を赦し、私たちを御前に正しい者と受け入れて、裁きから救ってくださるということです。私たちが義と認められるのは、イエス様が神様に対する私た

ちのすべての罪を十字架で完全に償ってくださったからです。またイエス様が私たちに代わって十字架の死に至るまで神様に完全に従ってくださったからです。このように、イエス様が私たちに代わって、すべての罪を償い、完全に服従してくださったからこそ、私たちはイエス様を神の子、救い主と信じるだけで、義と認められるのです。私たち自身の償いや服従は、私たちの救いに何の役にも立ちません。ただイエス様の償いと服従こそが、私たちが救われる唯一の道です。私たちには、それに依り頼むほかに、救いの道はないのです。

神様は、私たちに信仰を与え、私たちを義と認めてくださいるだけでなく、私たちに「栄光を与えて」くださいます。私たちが与えられる栄光とは、「御子のかたちと同じ姿」にされるということです。神様は、ただ私たちを義と認めるために選ばれたのではなく、私たちがイエス様と同じ姿に変えるために選んでくださったのです。Ⅰヨハネ 3：2 には、このようにあります。「**私たちは、キリストが現れたときに、キリストに似た者になることは知っています。キリストをありのままに見るからです**」。私たちは、イエス様が再びこの地上に来られる世の終わりの時に、イエス様に似た者へと変えられます。

私たちの人生の目標は、イエス様に似た者へと変えられることです。それを目指して、クリスチャンとして歩いていくのです。パウロは、Ⅱコリント 3：18 でこのように言っています。「**私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです**」。私たちは地上の生涯の中で、聖書の御言葉と聖霊の力によって、イエス様に似た者へと少しずつ変えられていくことができます。しかし地上の生涯の中では、完全にはイエス様のようになることはできません。私たちが完全にイエス様に似た者になることができるのは、イエス様が再び来られる時です。私たちはその時を目指して、地上の生涯の最後まで、少しでもイエス様の姿に近づけるように努力していくのです。

私たちは、イエス様の姿へと変えられていくためにこそ、選ばれ、信仰を与えられ、義と認められたのです。私たちクリスチャンは、絶えず変えられていかなければなりません。イエス様の姿へと成長していかなければなりません。

## **2. 御霊のとりなし**

しかし私たちクリスチャンは、あらゆる弱さを持っています。罪の性質も完全に拭うことはできません。あらゆる試練の中で希望を失い、激しく落ち込むこともあります。私たちの信仰生活は、決して平坦ではありません。

パウロは、そのような私たちに向けて、26-27 節でこのように言います。「**同じように御霊も、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、何をどう祈ったらよいか分からないのですが、御霊ご自身が、ことばにならないうめきをもって、とりなしてくださいるのです。人間の心を探る方は、御霊の思いが何であるかを知っておられます。なぜなら、御霊は神のみこころにしたがって、聖徒たちのためにとりなしてくださいるからです**」。

私たちクリスチャンは、自分の力で信仰生活を歩んでいかなければならないわけではありません。私たちがイエス様の姿へと成長していくためには、聖書の御言葉を読み、聖礼典（聖餐・洗礼）に与り、祈らなければなりません。これは、「恵みの手段」と呼ばれます。私たちは、これらを怠るなら成長は望めません。しかし私たちの人生には、聖書を読めない、礼拝に行けない、祈れないと思うほど、苦しい試練や悲しみに襲われることもあります。しかしそのような時に、私たちの内にいて、私たちと共にいてくださる聖霊が私たちを助けてくださると言うのです。

具体的にどのように助けてくださるのかというと、それは私たちのために祈ってくださることを通してです。私たちが祈れない時に、聖霊が私たちの代わりに、神様に祈ってくださるのです。

聖霊が私たちのために祈ってくださる祈りは、神様の御心に従った祈りです。Ⅰヨハネ5：14には、「**何事でも神のみこころにしたがって願うなら、神は聞いてくださるといこと、これこそ神に対して私たちが抱いている確信です**」。聖霊は、神様が確実に聞いてくださる祈りを、私たちのために祈ってくださるのです。私たちは、苦しみや悲しみの中にある時、「的外れ」な祈りしかできないかもしれません。しかし聖霊は、私たちのために、神様の御心に従った、確実に聞かれる祈りをしてくださるのです。それゆえに神様は、聖霊のとりなしの祈りのゆえに、私たちを確実に神様の御心へと導いてくださるのです。

私たちは、信仰生活の中で、「恵みの手段」を忠実に用いていかなければなりません。しかし聖霊が私たちのために絶えず祈り、私たちを神様の御心へと導いてくださっていることにも信頼しなければなりません。

### **3. すべてのことを益に**

さらにパウロは、29 節でこのように言います。「**神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています**」。

「神のご計画にしたがって召された人たち」とは、永遠の昔から神様によって選ばれ、時至って信仰を与えられ、義と認められ、やがてイエス様の姿へと変えられる、私たちクリスチャンのことです。聖霊によって祈られ、神様の御心に従って、イエス様の姿へと変えられつつある私たちのことです。その私たちの人生に起こるすべての出来事は、神様が働いて、私たちの益となるように導いてくださると言うのです。私たちに人生に起こる「すべて」が、私たちの益となるのです。私たちの弱さも、罪も、失敗も、病気も、障害も、悲しみも、苦しみも、死さえも、すべてが私たちの益となるのです。私たちの人生にとって、意味のないことは一つもない、無駄になることは一つもないのです。神様は、すべての人に対して無制限にそのようにしてくださるではありません。「神のご計画にしたがって召された人たち」のためだけに、すべてのことを益としてくださるのです。

では私たちににとっての益とは何でしょうか。永遠の昔から神様によって選ばれ、信仰を与

えられ、義と認められた私たちの人生の目標は、イエス様の姿に変えられることです。そのためにこそ、神様は私たちを選ばれたのです。ですから私たちにとっての益とは、私たちがイエス様の姿に変えられていくことです。神様は、私たちの人生に起こるすべてのことを、私たちがイエス様の姿に変えられていくことに用いてくださるのです。私たちの弱さも、罪も、失敗も、病気も、障害も、悲しみも、苦しみも、死さえも、私たちがイエス様の姿に変えられていくために用いてくださるのです。神様は、すべてのことを、私たちがイエス様の姿に変えられていくことへと繋げてくださるのです。

神様はしばしば、私たちを成長させるために苦難や試練を与えられると言われます。ローマ5：3-4にはこうあります。「**苦難さえも喜んでいきます。それは、苦難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと、私たちは知っているからです**」。またヤコブ1：2-4にもこうあります「**さまざまな試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。あなたがたが知っているとおりに、信仰が試されると忍耐が生まれます。その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります**」。

神様は、永遠の昔から私たちをイエス様の姿へと変えるために選ばれました。そのために、私たちの人生に起こるすべてのことを用いられ、私たちを導き、成長させられるのです。

## **おわりに**

私たちの信仰は、神様が永遠の昔から私たちを選んでくださったからこそ、与えられたものです。決して自分の力で勝ち取ったものではありません。私たちは、神様の恵みによって救われたのです。私たちの救いは、究極的に、私たちの信仰によって支えられるのではなく、神様の永遠の昔からの選びによって支えられるものです。永遠の昔から定められたものは、決して変更されることはありません。私たちの救いの確信は、自分の信仰を見つめることによってではなく、神様の永遠の昔からの選びを見つめることによって得られるものです。

私たちの信仰生活は、聖霊の助けによって導かれます。聖霊が私たちのために、神様の御心に従って祈ってくださっています。だからこそ私たちは、神様の御心へと導かれていくことができるのです。

私たちの信仰生活には、様々な苦難や試練があります。しかし神様は、すべてのことを益としてくださるのです。私たちの弱さも、罪さえもすべてを、イエス様の姿へ変えられることに用いてくださるのです。

永遠の昔から神様に選ばれた私たちは、28節で「神を愛する人たち」と言い換えられます。私たちクリスチャンに求められていることは、神様を愛することです。神様を愛するとは、神様の命令に従うことです。イエス様も神様に完全に従われました。イエス様の姿へと変えられるとは、神様に完全に従うようになるということでもあります。

神様に従う私たちの歩みを、神様は助けてくださいます。聖霊が私たちのために絶えず祈り、神様が私たちに起こるすべてのことを益と変えてくださいます。

天におられる私たちの父なる神様。

私たちの信仰は、私たちが自分の力で勝ち取ったものではありません。あなたがた永遠の昔から定めてくださったものでした。あなたは、私たちを恵みによって救い、イエス様の姿へと今もなお導いてくださっています。あなたは、御言葉を通し、聖礼典を通し、祈りを通して、私たちをイエス様の姿へと導いてくださいます。また様々な苦難や試練を通して、私たちを変え、成長させてくださいます。私たちが祈れない時でさえ、聖霊が私たちのために神様の御心に従って祈ってくださることを感謝します。私たちに起こるすべてのことを、私たちの益としてくださることを感謝します。どうか私たちが、あなたの永遠の昔からの選びの確かさ、聖霊のとりなし、すべてを益としてくださる神様の導きに信頼して、どんな時でも神様を愛し続けることができますように。そして生涯の最後まで、イエス様の姿に少しでも近づけるように、あなたに従うことができますように。

この祈りを私たちの救い主イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。